

小森江西小学校・小森江東小学校

両校の統合における これまでの決定事項について

～統合準備委員会 事務局報告～

令和4年5月
統合準備委員会 事務局
(北九州市教育委員会)

1

1 学校規模適正化とは

- 小・中学校は、教科等の知識や技能を習得させるだけでなく、児童生徒が集団の中で切磋琢磨することを通じて、思考力や表現力、判断力、問題解決能力などを身に付け、心身の成長を促す場所である。



- そのため、**教育効果を十分に発揮するには適正な規模を確保する必要**がある。

北九州市教育委員会では・・・

平成29年3月

「北九州市立小・中学校の学校規模適正化の進め方」策定

⇒ 適正化対象校29校 及び

学校規模適正化に早急に取り組む学校（3校） 公表

平成31年3月

学校規模適正化白書における市立小・中学校の将来推計の更新

⇒ 適正化対象校27校 公表

2

2 小森江西小学校の状況（当時）

■ 児童数及び学級数（令和元年5月）

（児童数：人、学級数：学級）

区 分		1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	計
児童数	男	9	8	7	6	5	12	4	51
	女	6	10	10	6	11	8	2	53
	計	15	18	17	12	16	20	6	104
学級数		1	1	1	1	1	1	1	7

3

2 小森江東小学校の状況（当時）

■ 児童数及び学級数（令和元年5月）

（児童数：人、学級数：学級）

区 分		1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	計
児童数	男	0	6	11	4	3	3	8	35
	女	1	3	3	3	6	6	4	26
	計	1	9	14	7	9	9	12	61
学級数		1	1	1	1		1	2	7

4

2 規模適正化により期待される効果

効果例

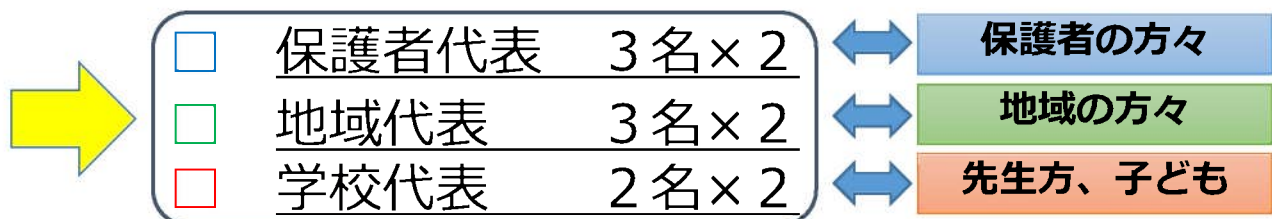
- ・ 学校全体が活性化する
- ・ 児童を多様な意見に触れさせることができる
- ・ 新たな人間関係を構築する力を身に付けさせることができる（友達が増えるなど、多様な人間関係が生まれる）
- ・ 児童同士や学級同士が切磋琢磨する環境を作ることができる
- ・ 教員の役割分担による専科指導等、多様な指導形態をとることができる
- ・ 教職員が増えることで、指導力（個性）が豊かになり、専門的にも幅広い研修ができるなど、教師一人一人の指導力アップにつながる

5

3 統合準備委員会とは

○ 統合準備委員会

→ 両校・両地域より 計16名で構成



[これまで]

- ◇ 令和2年1月の**第1回**～令和4年5月の**第15回**
- ◇ 保護者代表による「校舎位置検討部会」を3回
→ 統合時期、校名、校章、**校舎位置を決定**



4 校舎位置が決まるまで

○ 第1回 統合準備委員会（令和2年1月）

【統合の組み合わせ】

(案) 小森江西小 →← 大里東小

(案) 小森江東小 →← 門司海青小

(案) 小森江西小 →← 小森江東小

小森江の西と東で
一緒にできること
を探っていきたい



小森江西小→←小森江東小の統合を決定

7

4 校舎位置が決まるまで

○ 第2回 統合準備委員会（令和2年2月）

→ 校舎位置について検討開始

○ 第7回 統合準備委員会（令和2年11月）

→ 保護者代表による

「**校舎位置検討部会**」の開催を決定

※ **校舎位置検討部会**（保護者代表6名）

・ 11月と12月に、計3度開催

・ 「**教育委員会に一任**」を提案することを決定

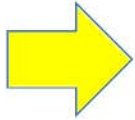
○ 第9回 統合準備委員会（令和3年1月）

→ 「**校舎位置検討部会**」の提案について協議

→ 校舎位置は「**教育委員会に一任**」を**決定**

8

4 校舎位置が決まるまで



一任を受けた教育委員会は…

- ・ 校地の安全性確認
- ・ 有識者からの意見聴取
- ・ 現地調査
- ・ 両校職員への聞き取り … 等

○ 第13回 統合準備委員会（令和4年3月）

→ 校舎位置は

「小森江東小学校」に**決定**

9

5 教育委員会における検討結果

（1）検討の流れ

専門家による校地の安全点検

- R3年2月～ (社) 法面防災協会による現地確認
- R3年5月～9月 建設コンサルタントによる調査
- R3年10月～12月 本市防災アドバイザーによる調査



外部有識者から意見聴取

- R3年12月 大学教授等の学識者から意見聴取



教育委員会内での検討

10

5 教育委員会における検討結果

(2) 評価項目

○統合準備委員会での議論や、外部有識者の意見を踏まえ、下記の5項目を評価項目として設定した

- ① 緊急時に関すること
- ② 通学に関すること
- ③ 施設に関すること
- ④ 学習に関すること
- ⑤ 防災・安全等に関すること

11

5 教育委員会における検討結果

① 緊急時に関すること（現状整理 1）



5 教育委員会における検討結果

① 緊急時に関すること（現状整理 2）

- 警察・消防署、病院等の緊急施設までの距離、時間等

	警察署から	消防署から
全国平均	(8分 9秒)	(8分42秒)
小森江西小	3.2 km 4分48秒	1.2 km 1分48秒
小森江東小	2.8 km 4分12秒	2.1 km 3分 9秒
	門司メディカルセンター	新小文字病院
小森江西小	4.8 km 7分12秒	3.3 km 4分57秒
小森江東小	3.5 km 5分15秒	4.2 km 6分18秒

- 緊急車両の進入等（経路、アクセス等）

	3号線から	進入可能箇所	2方向確保
小森江西小	約220m	運動場・玄関まで可 ※1か所	○
小森江東小	約150m	運動場・玄関まで可 ※4か所	○

5 教育委員会における検討結果

① 緊急時に関すること

No.	観点	結果
①	警察・消防署・病院等、緊急施設までの状況	○ <u>両校に、大きな差は見られなかった</u>
②	学校までの緊急車両進入のし易さ	



両校に大きな差が見られないため、**評価を同等**とした

5 教育委員会における検討結果

④ 学習に関すること（現状整理）

○周辺の主な名所・旧跡（各市民センターの地域情報）

校区	施設名	概要
小森江西小	子供のもり公園	風師山、矢筈山のふもとに位置し、自然環境やホタル育成などの学習の場として利用されている【生活、総合等】
	矢筈山	山頂には、矢筈山キャンプ場や旧陸軍の堡塁陣地がある【社会科、図工、総合等】
小森江東小	風師山	眼下の関門海峡に巖流島や関門橋、さらには周防灘や玄界灘の絶景を見ることができる【社会、図工、総合等】
	貴船川	昭和28年の大水害の石碑があり、当時の状況を学ぶことができる【社会、総合等】

15

5 教育委員会における検討結果

④ 学習に関すること

No.	観点	結果
①	学校を含む周辺の学習環境・施設	<p>○両校ともに自然環境が豊かであり、学習に活用できる公共施設等もあり、<u>大きな差は見られなかった</u></p> <p>○校舎内における採光や日照時間については、<u>両校に大きな差は見られなかった</u></p>



両校に大きな差が見られないため、**評価を同等**とした

16

5 教育委員会における検討結果

⑤ 防災・安全等に関すること（現状整理 1）

○土砂災害警戒区域（イエローゾーン）の状況

【小森江西小学校】

【小森江東小学校】



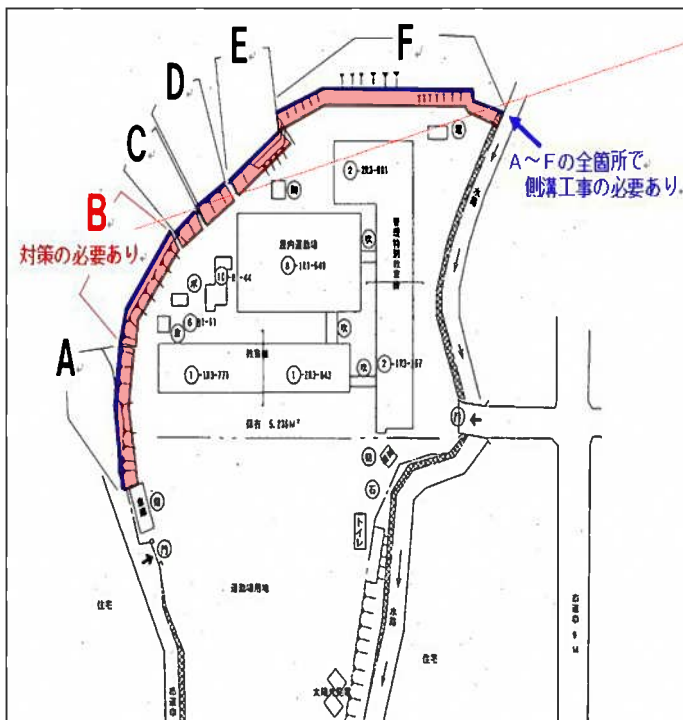
土砂災害	
	かけ崩れ 土砂災害特別警戒区域
	土砂災害警戒区域
	土石流 土砂災害特別警戒区域
	土砂災害警戒区域
	地すべり 土砂災害警戒区域

17

5 教育委員会における検討結果

⑤ 防災・安全等に関すること（現状整理 2）

○建設コンサルタントの調査結果（小森江西小学校）



B：対策の必要あり。



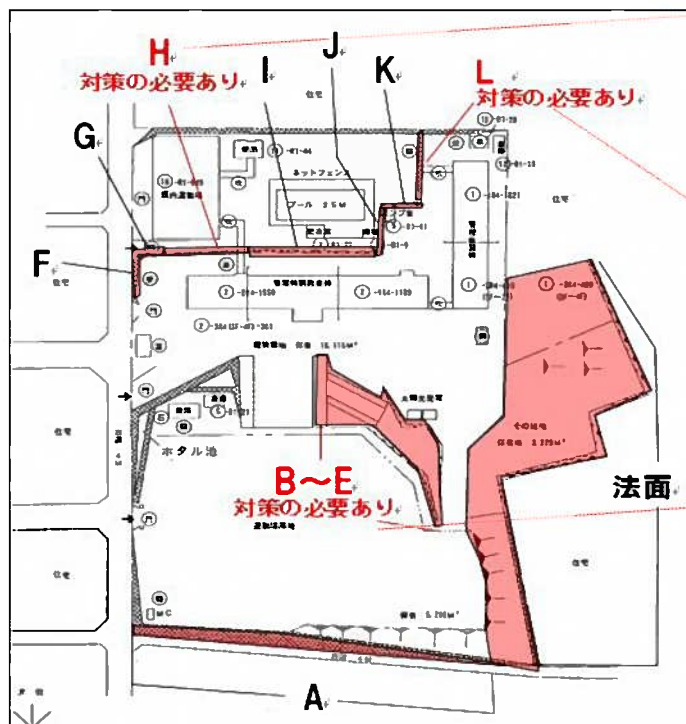
側溝



5 教育委員会における検討結果

⑤ 防災・安全等に関すること（現状整理3）

○建設コンサルタントの調査結果（小森江東小学校）



5 教育委員会における検討結果

⑤ 防災・安全等に関すること

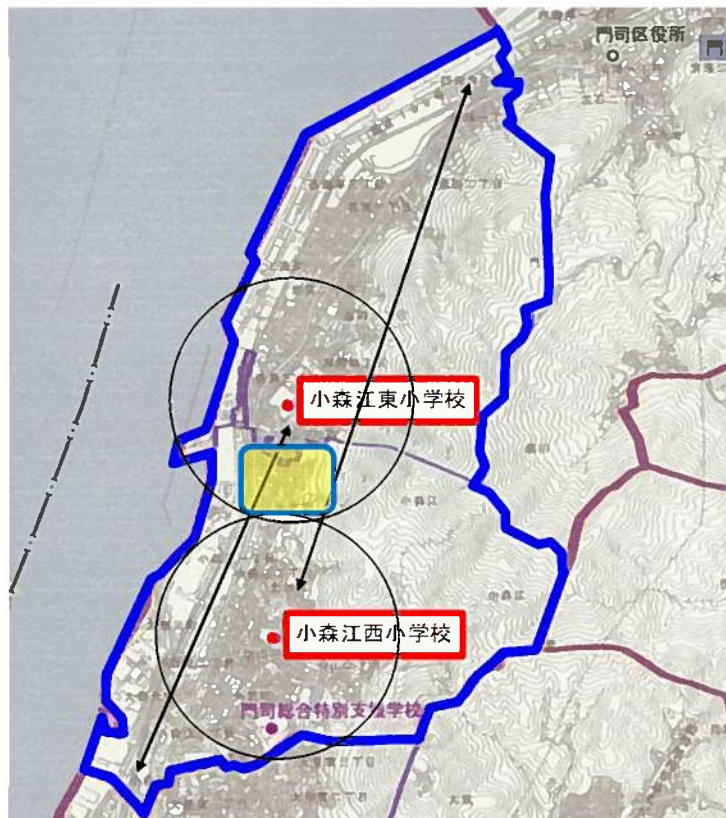
No.	観点	結果
①	災害時における校地の安全性	<ul style="list-style-type: none"> ○安全対策工事を行えば、<u>両校とも本校舎として使用可能</u>である ○専門家や建設コンサルタントは、<u>両校に大きな差は見られない</u>との見解である ○専門家の見解と同様に、<u>教育委員会案としても同等と評価した方がよい</u>
②	災害時における学校周辺の安全性	
③	校地内の安全性	



→ 専門家が同等と評価していることを踏まえ、**評価を同等**とした

5 教育委員会における検討結果

② 通学に関すること（現状整理）



◇小森江西小校舎の場合

- 最長通学距離
→ **2.8 km**
- 2 km以上の児童
→ **9人**

◇小森江東小校舎の場合

- 最長通学距離
→ **2.1 km**
- 2 km以上の児童
→ **0人**

21

5 教育委員会における検討結果

② 通学に関すること

No.	観点	結果
①	最長通学距離	○小森江西小学校になった場合の最長通学距離は2.8 km、小森江東小学校になった場合は2.1 kmであり、 通学距離が短い小森江東小学校の方が負担が少ない
②	通学路の高低差	○ 両校に、大きな差は見られなかった
③	通学路の状況	



児童の通学のし易さや負担を考慮し、**小森江東小学校**とした

22

5 教育委員会における検討結果

③ 施設に関すること（現状整理）

No.	項目	小森江西小	小森江東小
①	建築基準年	昭和37年（築58年）	昭和40年（築55年）
②	大規模改修等	平成5年 大規模改修	昭和60年 大規模改修 平成30年 外壁工事
③	施設状況 （健全度）	C	C
④	最大教室数	10教室	18教室
⑤	用途地域	第1種中高層住居専用地域	第1種住居地域
⑥	校地面積	9,190㎡	13,444㎡
⑦	グランド面積	3,898㎡	5,286㎡

23

5 教育委員会における検討結果

③ 施設に関すること

No.	観点	結果
①	校地面積の 大きさ	○医療的ケア児や障害のある子どもが増加している傾向を考えると、 小森江西小は教室が不足する可能性がある ○小森江東小は校地が3段に分かれており、スロープがあるが、障害のある子どもや車いすの子どもにとっては不便である
②	校舎・教室等の 状況	○小森江西小はプールが校舎から離れており、子どもがけが等をした際に対応が遅れる可能性がある ○改修費用は小森江東小の方が補助制度等を用いた市の負担額で約2千万円高くなるが、多様な学習に対応できる学習環境を作っていくためには 小森江東小の方がよい

➡ 転用可能な余裕教室が多いため、**小森江東小学校**とした

24

3 教育委員会における検討結果

まとめ

- 五つの項目で整理して検討した結果
「**校舎位置は小森江東小学校**」 → 統合準備委員会へ

No.	項目	
①	緊急時	—
④	学習	—
⑤	防災・安全	—
②	通学	小森江東小学校
③	施設	小森江東小学校

6 今後の統合準備委員会

◇ これから検討していくこと

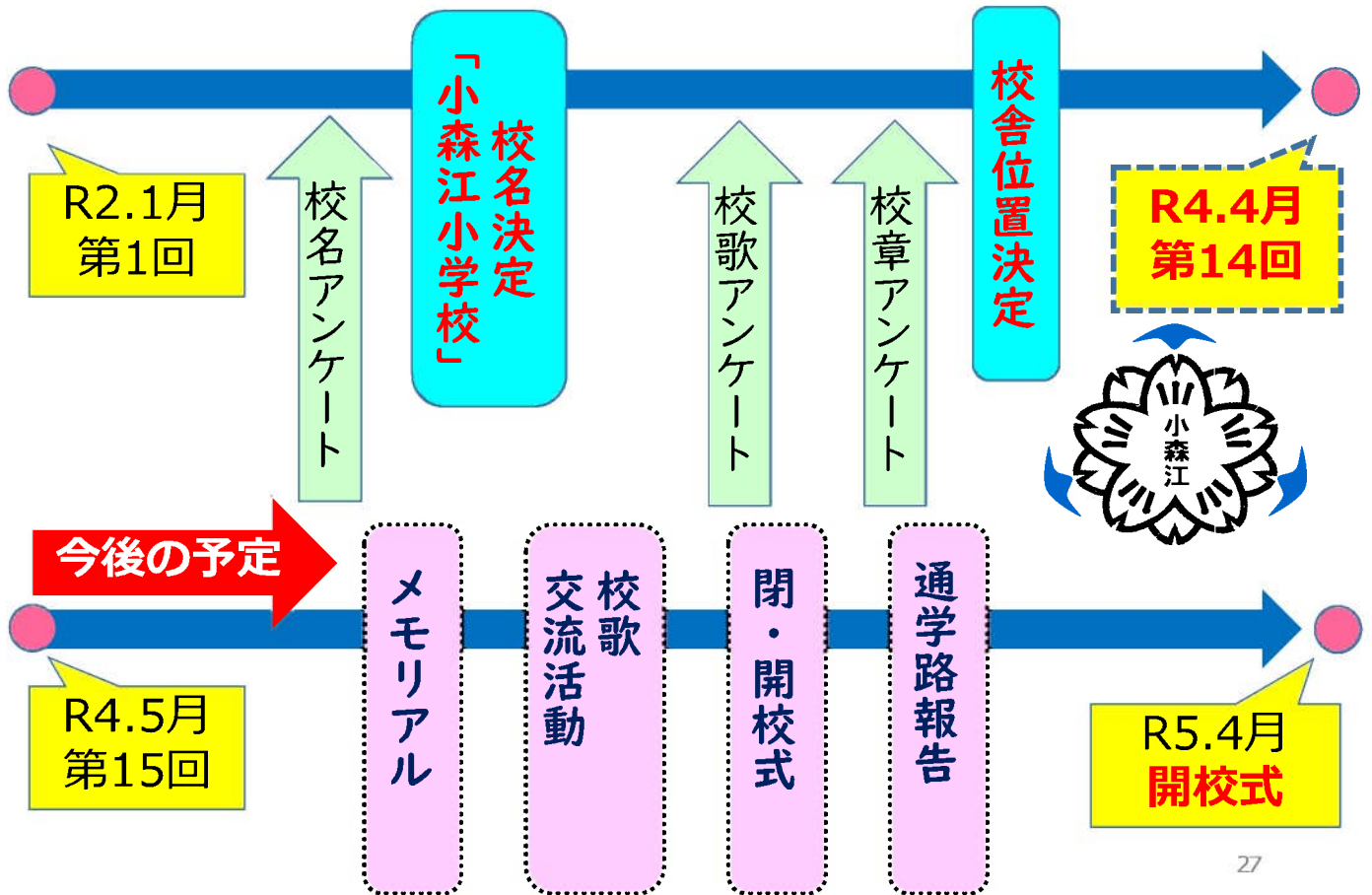
- 通学路安全点検、安全対策、改善の要望
- **校歌の決定、披露、練習**
- **閉校式、開校式**に向けて …等
(令和5年4月予定)

◇ 子どもたちの思い・願い

- 最後の6年生として「よい締めくくりを!」
- 共同学習を積み重ねて…
- 仲間が増える、できることが広がる








7 これまでと今後のスケジュール



27

7 これまでと今後のスケジュール

○ 校舎位置の移動について

	旧：小森江西小校舎	旧：小森江東小校舎
令和4年度		
令和5年度	【4月】 小森江小学校開校 (小森江小学校1年め) 	● 校舎改修・ 安全対策工事 ● 通学路整備
令和6年度	 (小森江小学校2年め)	
令和7年度		【4月】 新校舎運用開始 (小森江小学校3年め) 

28

8 おわりに

引き続き、両校の統合と
その後の教育活動の充実のため、
「**小森江小学校**」の子どもたちのため、
皆様のご理解とご協力をお願いいたします。